

令和 7 年度環境監視結果

目 次

資料1	令和7年度自然環境保全対策	1
I	令和7年度の保全対策	1
II	令和7年度の実施状況	1
III	その他	4
資料2	令和7年度生活環境項目調査の計画及び結果	8
I	環境影響評価書の環境保全目標	8
II	令和7年度の監視計画の概要	9
III	令和7年度の調査結果	10

令和 7 年度自然環境保全対策

I 令和 7 年度の保全対策

自然環境の保全対策は、下記の事項を柱にモニタリング調査の結果を踏まえ実施した。

- ① 自然環境の整備
(貴重生物の保全、多様な生息環境の復元地、水辺環境の整備地の維持管理)
- ② 郷土樹種による緑化
(郷土種苗木植栽地、根株移植地、山取苗木移植地の除草等管理)
- ③ 森林環境の改善
(緩衝緑地の森林整備 (間伐、除伐、竹林の整備・除去))
- ④ オオタカの保護対策
(面的な保全対策、継続的な保護対策)

II 令和 7 年度の実施状況

1 自然環境の整備

地形改変に伴い移植を行った貴重植物等の移植地の除草や、動物や植物が生育するために適した環境の整備等を行った箇所の維持管理を実施した。

(1) 既存ビオトープの管理等

赤坂池ビオトープ、千頭ヶ谷ビオトープにおいて、周辺部、池内等の除草を地元 NPO (榛原里やまの会) との協働により実施した。



赤坂池ビオトープ



千頭ヶ谷ビオトープ

(2) フジタイゲキ移植地管理

貴重植物のうちフジタイゲキ移植地の管理は、現地をこまめに確認し除草等を実施した。



フジタイゲキ生育状況 (R7.6)

(3) カエル池の管理

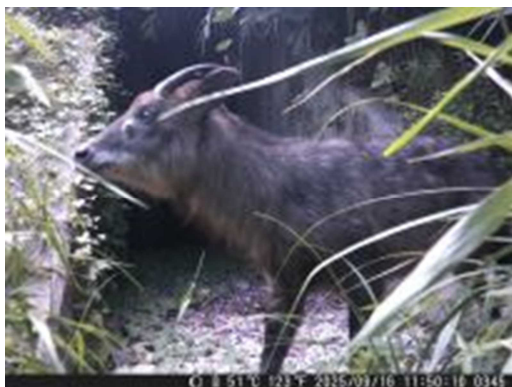
既存のカエル池4箇所の除草、藻・土砂除去、日照確保対策等を実施した。



カエル産卵状況(R8.2)

(4) けもの道の維持管理

定期的に状況を確認し、維持管理に努めた。



けもの道を歩くカモシカ

2 郷土樹種による緑化

現存植生の復元をするため、郷土種ポット苗木植栽地、郷土種根株・山取苗木の移植地の除草、ツル切り、除伐などの管理を実施した（農地自然林造成地等0.81ha）。



着手前



完成

3 森林環境の改善

緩衝緑地帯の既存の森林について、多様な森林空間を創出するために人工林整備 2.80ha 及び竹林整備 2.01ha を実施した。

(人工林整備)



着手前



完成

(竹林整備)



着手前



完成

4 オオタカの保護対策

給餌環境の改善として、除草 0.79ha の面的な保全対策を実施した。

※令和 7 年度は空港制限区域内の巡視中にオオタカの飛行が複数回見られ、年間を通じて生息していることが確認された。



着手前



完成

Ⅲ その他

富士山静岡空港では、自然環境保全対策により空港の森（緩衝緑地・造成緑地）を整備し、さらに自然環境の保全が、整備する箇所に応じて確実に地域に根ざし持続的なものとなるよう、活用や管理について地域住民など県民との協働を進めている。

事例紹介

- ・ NPO法人榛原里やまの会（牧之原市）との協働により、周囲部の除草、竹林の整備、ホタルの観察会、伐採竹を利用した正月飾り作り等を実施した。
- ・ NPO法人しろやまゆいの会（島田市）との協働により、周囲部の除草、貴重植物の管理、竹林の整備、地域住民を対象とした空港周囲部保全対策説明会を実施した。



榛原里やまの会による正月飾り作り（R7.12）



シイタケの菌打ち体験（R8.2）

表1 造成法面植栽地、農地自然林の管理の実績

(令和8年3月末現在)

(1) 直近5年間(R2～R7年度)

年度	面積 (ha)	実施箇所
R3	3.53	農地自然林造成
R4	3.06	農地自然林造成
R5	1.55	農地自然林造成
R6	1.07	農地自然林造成
R7	0.81	農地自然林造成

※備考

- ・ポット苗植栽・移植木箇所の草刈・つる切り・クズ除去の延べ面積。
- ・平成30年以降運営権譲渡によりB1～B10盛土等については富士山静岡空港㈱が管理。

(2) これまでの実績(H14～R7年度)

計 397.95 ha

表2 森林環境の改善の実績

(令和8年3月末現在)

(1) 直近5年間(R3～R7年度)

年度	面積 (ha)	実施箇所	内容		
R3	1.37	島田市湯日 牧之原市坂口	竹林	除去	
R4	1.62	島田市湯日 牧之原市坂口	竹林	除去	
R5	1.06	島田市湯日 牧之原市坂口	竹林	除去	
R6	19.24	島田市湯日	人工林	間伐	
	1.05	牧之原市坂口	竹林	除去	
R7	2.80	島田市湯日	人工林	間伐	
	2.01	牧之原市坂口	竹林	除去	

(2) これまでの実績(H10～R7年度)

計 238.36 ha

※平成10～12、14～16年度は、旧環境森林部実施分含む。

表3 オオタカ保護対策工の実績

(令和8年3月末現在)

1. 給餌環境の改善

年度 項目	R3	R4	R5	R6	R7
郷土種等植栽(本)	－	－	－	－	－
郷土種移植(本)	－	－	－	－	－
下刈り(ha)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.79
クズ除去(ha)	－	－	－	－	－
広葉樹除伐(ha)	－	－	－	－	－

表4 地域住民など県民との協働の取組実績(直近5年間)

令和3年度

内 容	参加者(実施団体名)	場 所	参加者数
森のクラフト、地元保全対策説明会の実施	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	111人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会	調節池周囲部 除草 竹林管理	延べ121人 延べ15人
	湯日地区町内会 NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ63人

令和4年度

内 容	参加者(実施団体名)	場 所	参加者数
森のクラフト、地元保全対策説明会の実施	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	99人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会	調節池周囲部 除草 竹林管理	延べ130人 延べ19人
	湯日地区町内会 NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ58人

令和5年度

内 容	参加者(実施団体名)	場 所	参加者数
森のクラフト、地元保全対策説明会の実施	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	103人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会	調節池周囲部 除草 竹林管理	延べ92人 延べ15人
	湯日地区町内会 NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ64人

令和6年度

内 容	参加者(実施団体名)	場 所	参加者数
森のクラフト、地元保全対策説明会の実施	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	101人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会	調節池周囲部 除草 竹林管理	延べ 113人 延べ 9人
	湯日地区町内会 NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ 56人

令和7年度

内 容	参加者(実施団体名)	場 所	参加者数
森のクラフト、地元保全対策説明会の実施	その都度募集 (NPO法人榛原里やまの会 NPO法人しろやまゆいの会)	榛原連絡所周辺 島田連絡所周辺	110人
竹林管理、下草刈り等	NPO法人しろやまゆいの会	調節池周囲部 除草 竹林管理	延べ 113人 延べ 9人
	湯日地区町内会 NPO法人榛原里やまの会	赤坂池ビオトープ 千頭ヶ谷ビオトープ	延べ 56人

令和 7 年度生活環境項目調査の計画及び結果

I 環境影響評価書の環境保全目標

環境要素	環境保全目標等
航空機騒音	L_{den} が 57 d B 以下であること。
道路交通騒音振動	大部分の地域住民が日常生活において支障がない程度。 (道路交通騒音環境基準：昼間 70dB 以下、夜間 65dB 以下、道路交通振動要請限度：昼間 70dB、夜間 65dB)
水質汚濁 (河川水)	• BOD 3 mg/L 以下とする。 • SS 25mg/L 以下とする。 • T-N・T-P は、「現状の水質を著しく悪化させないこと」とする。 (坂口谷川、湯日川で評価)
水質汚濁 (浄化槽放流水)	• BOD 10mg/L 以下とする。 • SS 20mg/L 以下とする。 • T-N 20mg/L 以下とする。 • T-P 2mg/L 以下とする。

 L_{den} (d B)

航空機騒音測定機器の技術的進歩及び国際的動向に即して、航空機騒音に係る環境基準の評価指標であり、1 日ごとの時間帯補正等価騒音レベルを算出する。

$$L_{den} = 10 \log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left(\sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej}+5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk}+10}{10}} \right) \right\}$$

i 、 j および k は、それぞれ昼間 (7:00~19:00)、夕方 (19:00~22:00)、夜間 (22:00~7:00) の時間帯に発生した単発騒音を表す添え字であり、 $L_{AE,di}$ 、 $L_{AE,ej}$ 及び $L_{AE,nk}$ は、それぞれの時間帯での i 番目、 j 番目および k 番目の単発騒音暴露レベル。また、 T_0 は基準の時間 (1s)、 T は観測一日の時間 (86400s)。

W 値 (WECPNL)

航空機騒音のうるさを評価する指標で、日本語では「加重等価平均感覚騒音レベル」、「うるささ指数」などと呼ばれている。航空機騒音に係る環境基準においては、WECPNL を次式により算定することが定められている。

$$WECPNL = d B + 10 \log N - 27$$

$d B$ は暗騒音より 10dB 以上大きい航空機騒音のピークレベル (航空機が通過する際に観測される騒音レベルの最大値) のパワー平均。

N は次式より算定される。

$$N = N_1 + 3N_2 + 10(N_3 + N_4)$$

N_1 ; 午前 0 時から午前 7 時までの観測機数

N_2 ; 午前 7 時から午後 7 時までの観測機数

N_3 ; 午後 7 時から午後 10 時までの観測機数

N_4 ; 午後 10 時から午後 12 時までの観測機数

 $L_{A, Smax}$

周波数特性は A 特性、レベル記録の動特性は SLOW とする、暗騒音より 10dB 以上大きい航空機騒音のピークレベル (航空機が通過する際に観測される騒音レベルの最大値)。

Ⅱ 令和7年度の監視計画の概要

調査項目	調査箇所	調査頻度	調査内容
航空機騒音	[短期測定] ・住宅地等7地点 ※H27年度から1地点追加(7向山付近)	年2回 (夏季、冬季)	L _{den} :「航空機騒音に係る環境基準について」(平成19年環境省告示第114号)、「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成27年10月環境省)、「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731)に準拠 W値、L _{A, Smax} :「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年環境庁告示第145号)、「航空機騒音監視測定マニュアル」(昭和63年環境庁大気保全局)、「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731)に準拠
	[常時測定] ・滑走路延長上の飛行経路直下でW値75の予測コンター先端付近の2地点	常時	
道路交通騒音振動	[自動車騒音振動] ・島田市湯日(吹木) ・島田市湯日(原の平) ・牧之原市坂部 :3地点	年1回(秋季)	道路交通騒音:JIS Z 8731 道路交通振動:JIS Z 8735 道路交通騒音・振動測定時間帯に方向別車種別(3車種分類:大型車、小型車、二輪車)
水質汚濁 ・水素イオン濃度(pH) ・生物化学的酸素要求量(BOD) ・浮遊物質(SS) ・全窒素(T-N) ・全リン(T-P) ・n-ヘキサン抽出物質 ・大腸菌群数(浄化槽放流水のみ)	[浄化槽放流水] ○浄化槽放流口 :1地点	適宜	水質汚濁の環境基準等に係る測定方法及び日本工業規格(JIS)に定める方法 pH:JIS K 0102 12.1 BOD:JIS K 0102 21 SS:JIS K 0102 14.1 T-N:JIS K 0102 45.4 T-P:JIS K 0102 46.3 n-ヘキサン抽出物質:JIS K 0102 24.2 大腸菌群数:JIS K 0102 72.3
	[河川水] ○坂口谷川1地点(唐木田橋) ○湯日川1地点(元水橋)		
	[調整池下流河川] 調整池内で浚渫等工事を実施する調整池下流河川		
電波障害	航空機の運航による電波障害に係る相談が寄せられた地域や住居	適宜	個別受信地域:電波測定車の路上調査及び相談が寄せられた住宅の受信機の調査 共聴施設:共同受信施設の受信機や受信アンテナ近傍で測定機器による調査
低周波音(事象調査)	航空機の運航による低周波音が発生していると考えられる相談が寄せられた地域や住居	適宜	低周波音の発生、心理的・生理的影響、物的影響の状況をヒアリングによって把握

Ⅲ 令和7年度の調査結果

1 航空機騒音

(1) 短期測定

すべての調査地点で、「環境監視計画」における環境保全目標 57 dB を超える Lden 値は観測されなかった。

調査方法	Lden:「航空機騒音に係る環境基準について」(平成 19 年環境省告示第 114 号) 「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成 27 年 10 月環境省) 「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731)に準拠する。 W 値、 $L_{A, Smax}$:「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和 48 年環境庁告示 154 号)「航空機騒音監視測定マニュアル」(昭和 63 年環境庁大気保全局) 「環境騒音の表示・測定方法」(JIS Z 8731)に準拠する。
調査概要	Lden について 1 日ごとの値を算出、また、W 値及び $L_{A, Smax}$ についてはピークレベル及び機数から 1 日ごとの値を算出し、それぞれ、その一年間における全ての値のパワー平均を算出する。 飛行機が飛ばなくて静かな日があることも考慮することとして、測定対象となる航空機騒音が測定されずデータ数が 0 であった日も、そのまま測定期間に含めるものとする。 ただし、気象条件などにより飛行場の運用が通常どおりでなかった場合や、測定機器の故障、予期せぬ暗騒音の発生等により日単位で欠測する場合は、測定日から除外する。 ※測定結果は、小数第 1 位までの値で表す。
調査期間	夏季:令和 7 年 7 月 1 日～7 月 14 日 冬季:令和 7 年 11 月 2 日～11 月 15 日
調査箇所	[短期測定] 住宅地等 7 地点 長源寺付近、万代池付近、原の平公民館付近、吹木茶農協緑茶加工場付近、切山新田集会所付近、坂口谷川橋付近、向山付近 (平成 27 年度から追加)

※「環境監視計画」における環境保全目標 (航空機騒音) は、Lden が 57dB 以下であること

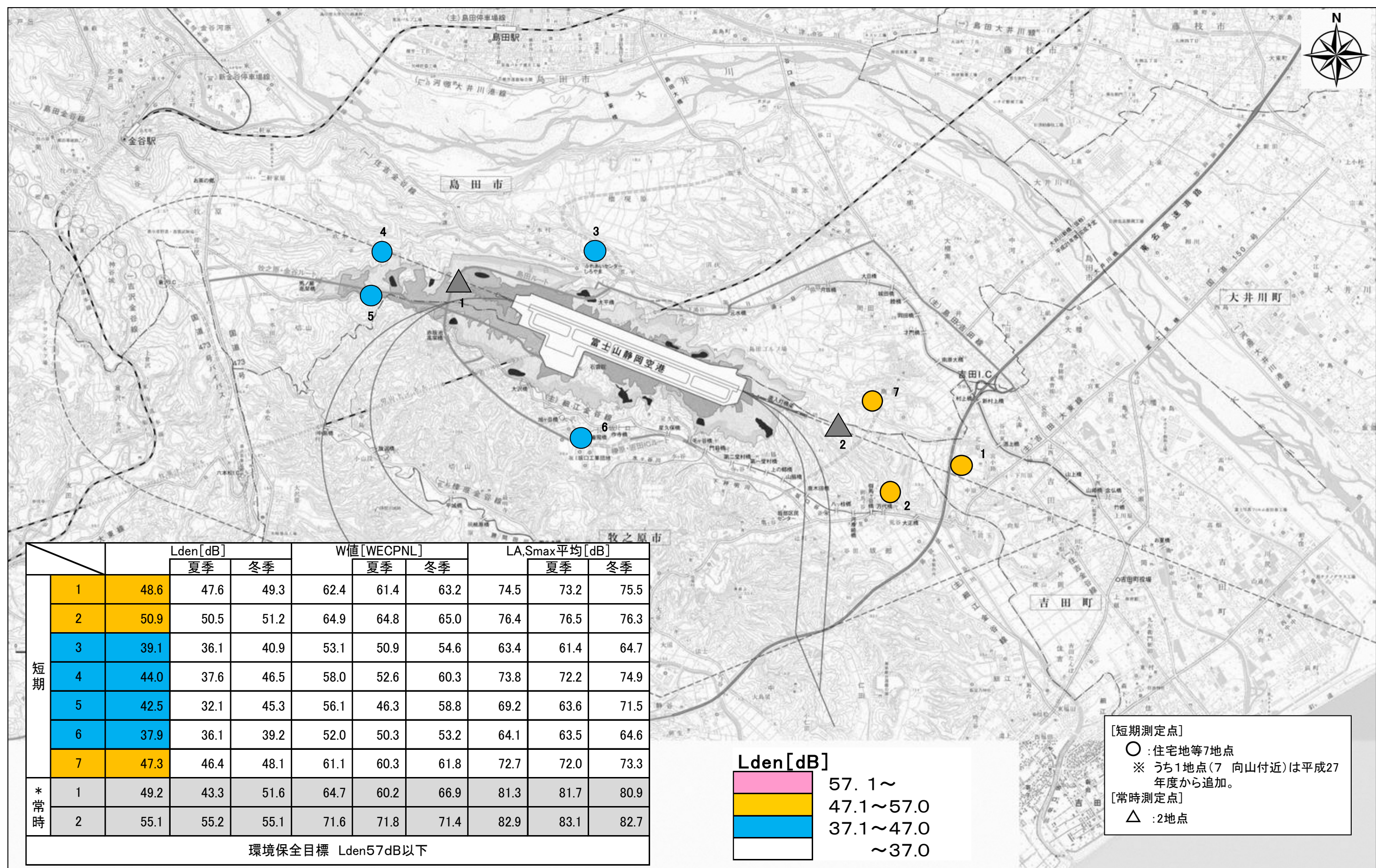
※「環境基準」の基準値:(地域の類型Ⅰ) Lden 57dB 以下

(地域の類型Ⅱ) Lden 62dB 以下

静岡空港近傍では地域の類型Ⅱがあてはめられている。

※「騒音協定」の住宅防音工事の判断基準:Lden57dB 以上が認められる地域。

※「騒音協定に定める調査期間」:1 日の航空機騒音の発生回数が 5 回以上の日数が 3 日未満の時は 3 日以上となるまで測定期間を延長する。(ただし、2 週間を限度とすることを監視計画で規定)



図ー1 航空機騒音短期測定 of 調査地点および調査結果
*常時測定は参考値とする

表-1 航空機騒音調査結果(Lden)

夏季Lden(地点別集計)

調査地点:短期測定点(屋外)

調査日時:7月1日～7月14日(7月8日～7月14日は予備日)

調査地点			Lden[dB]							
			夏季							
			平均	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7
短期	1	長源寺付近	47.6	47.3	47.2	47.6	49.2	47.4	47.1	47.1
	2	万代池付近	50.5	50.5	49.9	50.6	51.9	50.1	50.4	50.1
	3	原の平公民館付近	36.1	36.6	33.9	38.1	37.4	34.9	33.5	36.0
	4	吹木茶農協緑茶加工場付近	37.6	41.2	0.0	37.3	20.7	40.0	36.9	38.0
	5	切山新田集会所付近	32.1	34.5	31.6	32.5	24.6	35.0	32.1	24.0
	6	坂口谷川橋付近	36.1	40.7	33.3	35.3	38.0	32.5	32.0	31.8
	7	向山付近	46.4	45.5	45.8	46.6	47.9	45.8	46.2	46.3
常時	1	西側定点観測施設	43.3	44.4	33.0	43.9	34.0	45.5	45.9	42.5
	2	東側定点観測施設	55.2	55.0	54.6	54.8	56.5	55.1	54.7	55.0

冬季Lden(地点別集計)

調査地点:短期測定点(屋外)

調査日時:11月2日～11月15日(11月9日～11月15日は予備日)

調査地点			Lden[dB]								夏季・冬季
			冬季								
			平均	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	平均
短期	1	長源寺付近	49.3	50.2	49.2	48.5	48.9	49.4	49.8	49.3	48.6
	2	万代池付近	51.2	49.6	49.7	50.9	52.0	52.3	51.8	51.2	50.9
	3	原の平公民館付近	40.9	44.8	42.2	38.3	38.7	39.4	40.6	37.1	39.1
	4	吹木茶農協緑茶加工場付近	46.5	51.3	48.0	45.5	42.7	43.3	45.2	36.0	44.0
	5	切山新田集会所付近	45.3	50.7	49.3	40.2	35.5	38.0	40.3	36.4	42.5
	6	坂口谷川橋付近	39.2	37.6	35.9	39.2	41.4	40.5	38.0	39.3	37.9
	7	向山付近	48.1	44.7	46.0	48.2	48.2	49.8	49.0	48.9	47.3
常時	1	西側定点観測施設	51.6	55.6	53.1	51.8	50.1	49.6	49.8	35.0	49.2
	2	東側定点観測施設	55.1	55.3	54.4	54.6	55.0	55.7	55.5	54.8	55.1

表-2 航空機騒音調査結果(WECPNL)

夏季W値(地点別集計)

調査地点:短期測定点(屋外)

調査日時:7月1日～7月14日(7月8日～7月14日は予備日)

調査地点			W値[WECPNL]							
			夏季							
			平均	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7
短期	1	長源寺付近	61.4	61.3	61.1	61.3	63.2	61.2	60.6	60.7
	2	万代池付近	64.8	64.0	64.0	65.1	66.4	64.2	64.9	64.4
	3	原の平公民館付近	50.9	51.6	49.3	52.5	51.5	51.0	49.4	50.0
	4	吹木茶農協緑茶加工場付近	52.6	57.4	0.0	52.3	34.3	54.4	52.3	50.6
	5	切山新田集会所付近	46.3	48.9	44.8	46.6	37.6	48.0	48.3	37.9
	6	坂口谷川橋付近	50.3	55.7	46.9	49.3	50.4	46.9	46.2	46.0
	7	向山付近	60.3	59.2	59.6	60.6	61.8	59.6	60.3	60.3
常時	1	西側定点観測施設	60.2	60.3	47.3	61.6	47.3	61.9	64.3	56.3
	2	東側定点観測施設	71.8	71.4	72.9	71.0	72.6	71.4	71.3	71.4

冬季W値(地点別集計)

調査地点:短期測定点(屋外)

調査日時:11月2日～11月15日(11月9日～11月15日は予備日)

調査地点			W値[WECPNL]								夏季・冬季
			冬季								
			平均	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	平均
短期	1	長源寺付近	63.2	64.3	63.4	62.5	62.4	62.8	63.5	63.0	62.4
	2	万代池付近	65.0	64.7	63.1	64.9	65.3	65.8	65.8	65.0	64.9
	3	原の平公民館付近	54.6	58.5	56.1	51.9	51.8	52.3	55.1	50.6	53.1
	4	吹木茶農協緑茶加工場付近	60.3	63.4	62.1	59.9	57.5	60.6	59.8	49.4	58.0
	5	切山新田集会所付近	58.8	63.1	63.9	52.3	49.2	53.8	54.4	50.7	56.1
	6	坂口谷川橋付近	53.2	50.5	49.2	53.9	55.2	53.9	52.9	54.1	52.0
	7	向山付近	61.8	59.7	59.6	61.8	61.7	63.3	63.0	62.3	61.1
常時	1	西側定点観測施設	66.9	69.2	68.8	67.6	66.1	66.4	66.1	48.1	64.7
	2	東側定点観測施設	71.4	72.5	71.1	70.8	70.5	71.9	71.9	70.6	71.6

表-3 航空機騒音調査結果(L_A, S_{max}(屋外))

夏季騒音観測値(平均)※パワー平均(地点別集計)
調査地点:短期測定点(屋外)
調査日時:7月1日～7月14日(7月8日～7月14日は予備日)

調査地点			平均値[dB]※パワー平均							
			夏季							
			平均	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7
短期	1	長源寺付近	73.2	73.3	73.4	73.6	74.1	72.7	72.6	72.5
	2	万代池付近	76.5	75.8	76.2	77.3	76.9	75.8	76.8	76.5
	3	原の平公民館付近	61.4	60.9	60.5	62.5	61.7	61.9	60.6	61.6
	4	吹木茶農協緑茶加工場付近	72.2	76.0	0.0	72.3	56.5	73.6	74.5	69.8
	5	切山新田集会所付近	63.6	65.9	64.8	64.1	56.8	63.8	65.3	54.1
	6	坂口谷川橋付近	63.5	68.0	63.2	62.9	63.6	59.8	59.5	60.7
	7	向山付近	72.0	71.5	71.8	72.7	73.1	70.7	71.8	72.1
常時	1	西側定点観測施設	81.7	81.2	74.3	82.6	66.5	81.9	86.6	78.5
	2	東側定点観測施設	83.1	82.7	82.9	83.4	83.3	83.0	83.1	82.9

冬季騒音観測値(平均)※パワー平均(地点別集計)
調査地点:短期測定点(屋外)
調査日時:11月2日～11月15日(11月9日～11月15日は予備日)

調査地点			平均値[dB]※パワー平均								夏季・冬季
			冬季								
			平均	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	平均
短期	1	長源寺付近	75.5	77.1	77.2	74.1	73.9	73.7	75.6	75.2	74.5
	2	万代池付近	76.3	75.2	76.3	76.2	76.0	76.2	77.5	76.5	76.4
	3	原の平公民館付近	64.7	68.9	65.3	62.3	62.2	61.3	65.2	61.4	63.4
	4	吹木茶農協緑茶加工場付近	74.9	76.3	77.9	74.6	70.3	75.1	75.6	66.0	73.8
	5	切山新田集会所付近	71.5	75.2	77.2	63.4	61.7	65.3	67.6	61.7	69.2
	6	坂口谷川橋付近	64.6	62.5	61.4	64.5	66.1	65.5	65.0	65.3	64.1
	7	向山付近	73.3	70.5	73.0	73.5	72.7	73.6	74.7	73.9	72.7
常時	1	西側定点観測施設	80.9	82.3	82.3	81.6	80.0	81.1	81.4	64.7	81.3
	2	東側定点観測施設	82.7	82.7	84.3	82.4	81.4	82.5	83.2	82.2	82.9

表-4 航空機騒音調査結果(暗騒音より10dB以上大きい航空機騒音発生回数)

夏季騒音観測値(航空機騒音発生回数)(地点別集計)
調査地点:短期測定点(屋外)
調査日時:7月1日～7月14日(7月8日～7月14日は予備日)

調査地点			暗騒音より10dB以上大きい航空機騒音発生回数								
			夏季								
			合計	5回/日以上 の回数	7/1	7/2	7/3	7/4	7/5	7/6	7/7
短期	1	長源寺付近	203	(7)	26	26	26	37	31	28	29
	2	万代池付近	205	(7)	27	26	26	40	31	28	27
	3	原の平公民館付近	242	(7)	47	27	40	38	32	27	31
	4	吹木茶農協緑茶加工場付近	28	(4)	5	0	5	3	6	3	6
	5	切山新田集会所付近	47	(5)	6	3	5	4	11	8	10
	6	坂口谷川橋付近	134	(7)	24	12	20	22	22	19	15
	7	向山付近	204	(7)	24	26	27	34	35	29	29
常時	1	西側定点観測施設	26	(2)	4	1	4	6	5	3	3
	2	東側定点観測施設	208	(7)	29	26	25	39	31	27	31

冬季騒音観測値(航空機騒音発生回数)(地点別集計)
調査地点:短期測定点(屋外)
調査日時:11月2日～11月15日(11月9日～11月15日は予備日)

調査地点			暗騒音より10dB以上大きい航空機騒音発生回数									夏季・冬季
			冬季									
			合計	5回/日以上 の回数	11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8	合計
短期	1	長源寺付近	196	(7)	24	15	30	32	38	29	28	399
	2	万代池付近	239	(7)	40	18	33	39	44	32	33	444
	3	原の平公民館付近	294	(7)	35	37	41	41	55	43	42	536
	4	吹木茶農協緑茶加工場付近	112	(7)	22	13	15	24	16	11	11	140
	5	切山新田集会所付近	180	(7)	27	16	29	20	33	21	34	227
	6	坂口谷川橋付近	204	(7)	28	17	34	35	28	27	35	338
	7	向山付近	228	(7)	36	17	30	36	44	32	33	432
常時	1	西側定点観測施設	106	(7)	23	16	13	18	14	12	10	132
	2	東側定点観測施設	237	(7)	44	18	31	37	41	33	33	445

※航空機騒音に係る環境基準より、暗騒音より10dB以上大きい航空機騒音の航空機の機数を記録する。
※飛行騒音のみ評価している。

(2) 常時測定

調査方法	短期測定の調査方法と同様
調査概要	//
調査日	令和7年4月1日（火）～令和8年3月31日（火）
調査箇所	①島田市湯日（900m進入灯台付近）＜静岡空港西側＞ ②牧之原市坂部（島田 20-2 工区ファームポンド敷地内）＜静岡空港東側＞ ※滑走路延長上の飛行経路直下で開港前のW値 75 の予測コンター先端付近の2地点

表－1 航空機騒音常時測定結果（ L_{den} 、W値・ $L_{A, Smax}$ （平均））

L_{den} （dB）

	L _{den} (d B)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① 西側	49.8	50.1	49.6	46.8	50.5	49.8	54.5	52.3	52.9	53.8	52.9	50.8	51.6
② 東側	54.6	54.9	55.3	55.3	55.8	55.6	55.4	55.2	54.6	53.5	54.7	57.7	55.3

L_{den} の測定結果は、地域の類型Ⅱの基準値 62dB よりも低い値となった。

また、東側と西側の調査箇所を比較すると、東側で西側より 3.7dB 高い値となった。

W値（WECPNL）

	W値 (WECPNL)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① 西側	65.1	65.6	65.1	63.4	66.1	64.9	71.6	66.9	67.6	68.7	67.9	66.4	67.2
② 東側	70.9	71.3	71.7	71.7	72.5	72.0	71.7	71.6	71.2	70.6	71.2	74.4	71.8

W値の測定結果は、予測値 75WECPNL よりも低い値となった。

また、東側と西側の調査箇所を比較すると、東側で西側より 4.6 高い値となった。

$L_{A, Smax}$ （平均）（dB）

	L A, S max (平均) (dB)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
① 西側	82.2	83.1	83.7	83.3	84.1	82.0	90.0	82.2	83.2	84.0	83.9	84.2	84.2
② 東側	82.9	83.1	83.3	83.3	84.2	83.5	83.1	83.4	83.2	83.2	83.3	86.4	83.7

※W値、 $L_{A, Smax}$ は、飛行騒音のみを評価

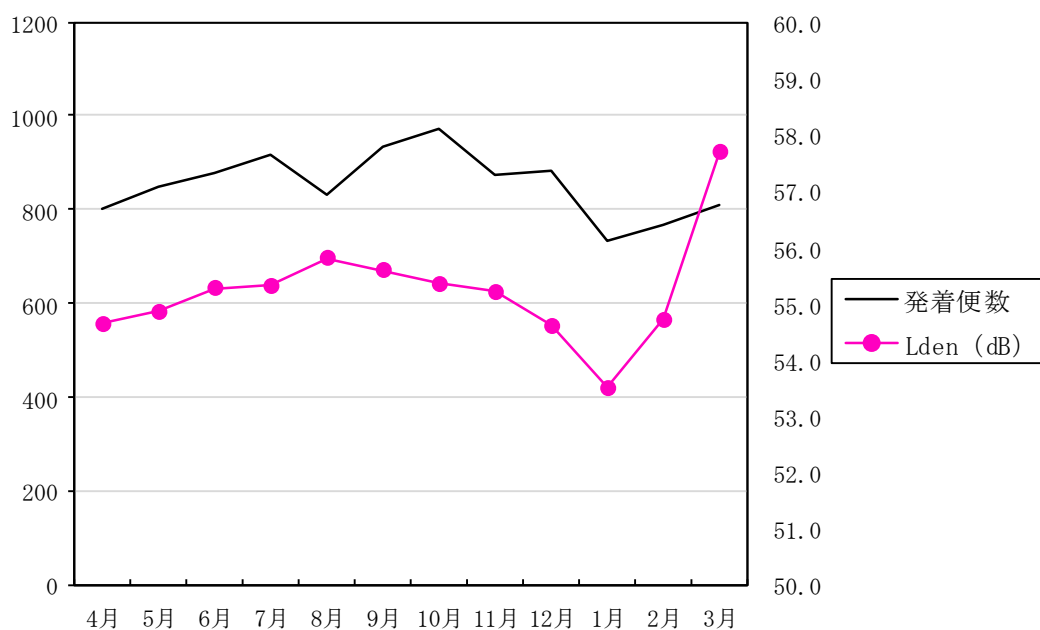
表－２ 令和７年度発着便数（参考）

	発着便数												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
① 西側	243	236	193	158	229	284	194	338	333	383	291	169	3051
② 東側	802	850	879	916	830	934	972	874	882	734	768	811	10252

図－１ 令和７年度発着便数とLdenの比較 西側（参考）



図－２ 令和７年度発着便数とLdenの比較 東側（参考）



表－３ 直近５年間（Ｒ２～Ｒ７年度）の発着便数と L_{den} （参考）

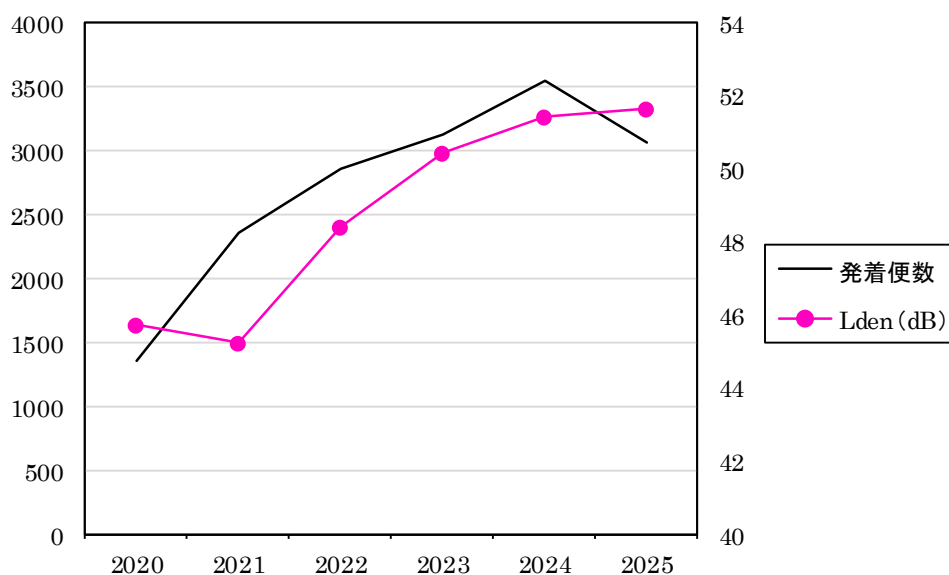
	発着便数					
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
① 西側	1,347	2,357	2,850	3,116	3,543	3,051
② 東側	3,871	6,322	8,600	9,612	10,443	10,252

※西側発着便数：西側からの離陸・着陸の合計、東側発着便数：東側からの離陸・着陸の合計

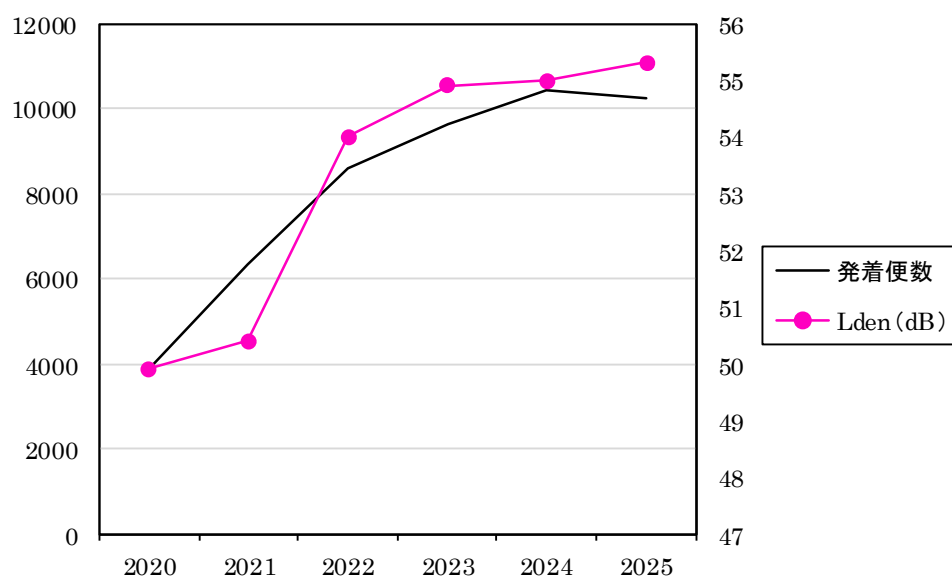
※発着便数は平成30年度までは静岡空港管理事務所、令和元年度以降は富士山静岡空港株式会社調べ

	$L_{den}(dB)$					
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
① 西側	45.7	45.2	48.4	50.4	51.4	51.6
② 東側	49.9	50.4	54.0	54.9	55.0	55.3

図－３ 直近５年間（Ｒ２～Ｒ７年度）発着便数と L_{den} の比較 西側（参考）



図－４ 直近５年間（Ｒ２～Ｒ７年度）発着便数と L_{den} の比較 東側（参考）



2 道路交通騒音振動

調査日	令和7年11月11日(火) 6:00~12日(水) 6:00【24時間】	
調査方法	騒音	JIS Z 8731に基づく騒音レベル測定方法に準拠。10分単位で騒音レベル(L_{Aeq})を測定し、観測時間帯(正時から1時間)毎に平均値を求める。
	振動	JIS Z 8735に基づく振動レベル測定方法に準拠。10分単位で振動レベルの80%レンジの上端値(L_{10})を測定し、観測時間帯(正時から1時間)毎に平均値を求める。
調査箇所	① 島田市湯日(吹木) ※騒音は補足地点でも調査を実施。 ② 島田市湯日(原の平) ③ 牧之原市坂部	

[道路交通騒音 [L_{Aeq}]]

道路交通騒音の環境保全目標は、大部分の地域住民が日常生活において支障がない程度である。評価基準は、騒音に係る環境基準のうち、「道路に面する地域の基準値(幹線道路を担う道路に近接する空間)」を用い、昼70dB以下、夜65dB以下である。

今回の本調査地点において、環境基準を超える値は観測されなかった。

[道路交通振動 [L_{10}]]

道路交通振動の環境保全目標は、大部分の地域住民が日常生活において支障がない程度である。評価基準は、振動規制法の道路交通振動にかかる要請限度のうち「第2種区域」の基準値を用い、昼70dB、夜65dBである。

今回の調査において、要請限度を超える値は観測されなかった。

表－４ 道路交通騒音測定結果（ L_{Aeq} ）

調査日：令和７年１１月１１日（火）～１２日（水）

単位(dB)

区分	時間	地点名		
		島田市湯日 (吹木)	島田市湯日 (原の平)	牧之原市 坂部
昼間	6:00	59.6	66.8	64.5
	7:00	62.3	68.0	67.0
	8:00	61.1	67.5	65.9
	9:00	61.7	66.3	65.1
	10:00	61.0	65.5	65.4
	11:00	61.2	66.2	64.9
	12:00	59.7	65.6	64.1
	13:00	60.8	65.4	65.1
	14:00	60.9	65.6	64.8
	15:00	60.8	66.1	64.5
	16:00	60.1	66.8	65.3
	17:00	59.4	67.0	65.3
	18:00	58.4	67.5	64.2
	19:00	56.9	65.4	63.0
	20:00	56.1	64.5	60.9
	21:00	53.5	62.2	59.6
夜間	22:00	52.6	60.9	57.7
	23:00	53.3	58.1	56.6
	0:00	52.5	58.2	58.1
	1:00	51.4	57.4	55.3
	2:00	50.9	58.5	52.6
	3:00	51.8	57.1	52.2
	4:00	55.1	61.1	56.7
	5:00	57.4	63.7	61.2
昼間	平均値	60	66	65
夜間		54	60	57

注) 平均値：等価騒音レベルにおけるパワー平均により算出。

表－５ 道路交通振動測定結果（L₁₀）

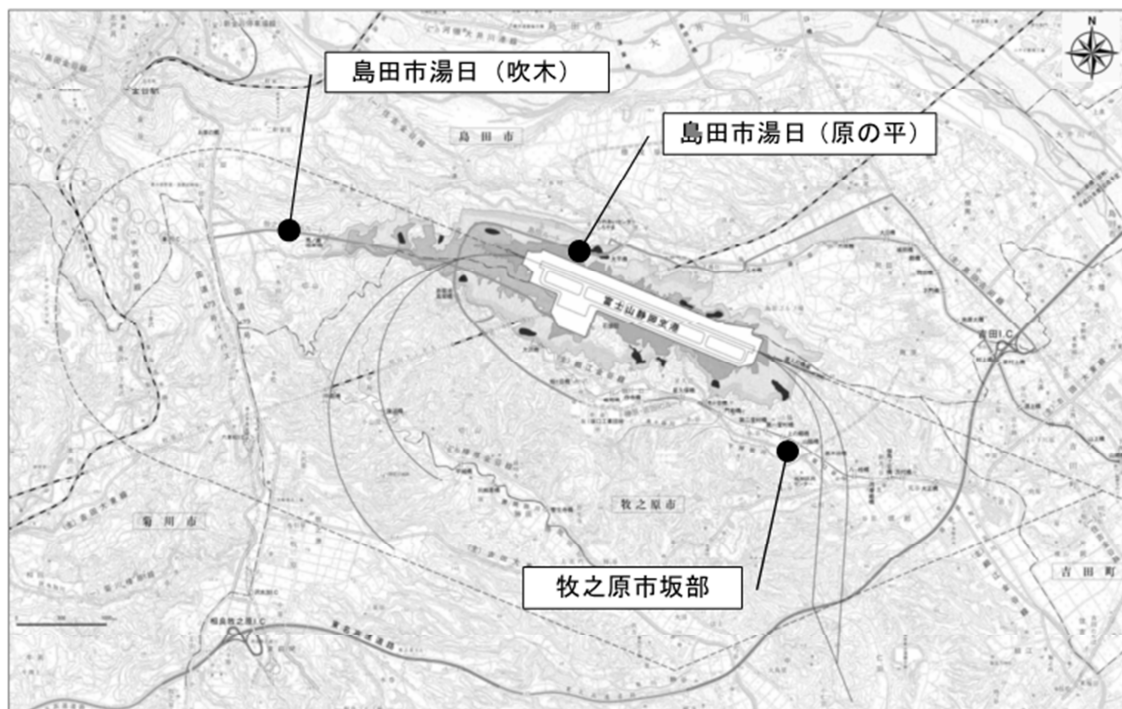
調査日：令和５年１１月１１日（火）～１２日（水）

単位(dB)

区分	時間	地点名			要請限度
		島田市湯日 (吹木)	島田市湯日 (原の平)	牧之原市 坂部	
夜間	6:00	<30	<30	40	65
	7:00	<30	<30	45	
昼間	8:00	<30	<30	45	70
	9:00	<30	<30	46	
	10:00	<30	<30	45	
	11:00	<30	<30	45	
	12:00	<30	<30	43	
	13:00	<30	<30	44	
	14:00	<30	<30	45	
	15:00	<30	<30	44	
	16:00	<30	<30	44	
	17:00	<30	<30	40	
	18:00	<30	<30	37	
	19:00	<30	<30	36	
夜間	20:00	<30	<30	31	65
	21:00	<30	<30	<30	
	22:00	<30	<30	<30	
	23:00	<30	<30	<30	
	0:00	<30	<30	<30	
	1:00	<30	<30	<30	
	2:00	<30	<30	<30	
	3:00	<30	<30	<30	
	4:00	<30	<30	<30	
	5:00	<30	<30	35	
昼間の平均値		<30	<30	43	70
夜間の平均値		<30	<30	<30	65

注) 算術平均値：時間率振動レベル（80%レンジの上端値、L₁₀）の算術平均により算出

図－5 道路交通騒音・振動調査、交通量調査実施位置図



道路騒音・振動調査（R7.11）



吹木調査地点



原の平調査地点



坂部 調査地点